



富士見台

家庭数配布

<http://www.fujimidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

むすめふさほせ

校長 眞瀬 敦子

明けましておめでとうございます。

と言っても、今日はもう1月8日。松飾りも取れ、お正月行事は11日の鏡開きを残すのみとなりました。

昨日は七草でしたが、召し上がりましたか？

今、学校には、出入りの八百屋さんからいただいた、七草の寄せ植えの籠が飾ってありますが、これらの野の草を「七草ナズナ、唐土の鳥が 日本の国へ 渡らぬ先に、ストントン…」と歌いながら刻んでお粥に入れて食べるという七草粥は、お正月のご馳走で疲れた胃を休め、不足がちなビタミンを補うという、実は大変理に叶った先人の知恵の産物。今日の朝会で全校の子供に聞いたところ、七割近くの子供が七草を食べた、おせちも食べたよと答えてくれたので、大変嬉しく思いました。

さて、学校では本日から授業が始まりましたが、その中で、伝統的な日本文化である「書き初め」と、本校の特色である「百人一首大会」に向け、カルタ取りの練習も行われています。

今回のタイトル「むすめふさほせ」が判った方は、かなりの百人一首マニア。さて、何のことでしょう？

ヒントは「む」なら、寂蓮法師「村雨の 露もまだ干ぬ槇の葉に 霧立ち上る 秋の夕暮れ」（私の母のお気に入りのお歌で、この札を取るたびに「霧立のぼる」という、宝塚のきれいな女優さんの芸名にもなったんだから」と、自慢気に言っていました（笑）

答えは、百人一首の「一枚札」です。「す」以下がどんな歌かは、是非お子さんと調べてみてください。その次は「うつしもゆ」です。

今年は、戦後70年という節目の年でもあります。

戦争体験者がどんどん高齢化していく中で、今こそ平和の大切さを再認識するために、子供たちに戦争の悲惨さを語り継いでいくのが、私達の役目だと富士見台小では考え、今年も10日に6年生に向けて、戦争の話を語っていただきます。

語り部は、今年86歳になられる、小岩先生のお祖母様です。

土曜公開日ですので、皆様も是非、一緒に耳を傾けてください。8:30からと10:00からの2回、フールームで行います。

そして6年生の保護者の方は、お家でお子さんと感想を話し合っていただけならと思います。他学年の方は、お子さんの発達段階に合わせて、聞いたお話を再現して聞かせてあげたり、これを機に、ご自分のお祖父様やお祖母様、身内で戦争を体験していられしる方に、お子さんと一緒にお話を伺っていただけたりしたら、と願っています。

併せて書き初め展も行っておりますので、奮ってご来校ください。

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、以上のようなことを考えつつ、私は改めて「子供たちに、豊かな心を育てたい」との思いを強くしました。

それには、様々な体験をさせ、様々な人と関わらせて、知的好奇心や想像力をもたせ、他の人々や自然と繋がる楽しさを味わわせることだと思います。そのための基礎学力をしっかり付けることも大切です。

どうぞ今年1年も、本校の教育方針にご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

お願い

本校では、長らく有志の方から畑をお借りし、体験学習の一環として、サツマイモや大根を育ててきましたが、来年度からそれができなくなってしまいました。

今まで貴重な土地を、無償でお貸しくださったことに厚く感謝申し上げます。

が…

学校には花壇がほとんど無いため、今後何処で作物を育てるか、本当に困っております。

どこか学校の近くに、子供たちにお貸しいただけるような畑地は残っていないのでしょうか？

もし、お心当たりがある方は、是非学校にご一報ください。どうぞよろしく願いいたします。